

和田氏の乱



<和田一族滅亡：和田塚>

鎌倉時代初期の1213年（建暦3年）2月15日に鎌倉幕府御家人で信濃源氏の泉親衡（いずみちかひら）が源頼家の遺児千寿丸を鎌倉殿に擁立し執権北条義時を打倒しようとした。この陰謀に和田義盛の子である義直、義重、甥の胤長ら十数人が加担していたと直ちに捕縛された。結果、実朝の計らいで子の2人は許されたが、甥の胤長（たねなが）は許されず、この処分を巡り和田義盛と義時が対立を深め挙兵したものの、2日間での市街戦の後、和田一族は敗れ、今では和田塚にその碑がある。

極楽寺坂口

- X 激戦地
- 5/3幕府軍陣地

和田氏の乱